

議長提案

幸町地区地元代表協議会副会長 亀田幸枝

正式名称は、「幸町地区学校適正配置地元代表協議会」ですから、児童・生徒数の適正配置はもちろんですが、場所的なことも考える必要があるのではと考えました。

ですから、教育委員会に「2丁目の小学校の統合場所は、第四小にし、空いた第二小に中学校をもってくれば良いのでは」と質問したところ、「中学校を小学校にすることはできるが、逆に小学校を中学校にすることはできない。」ということでした。

そうなると、広い2丁目に小学校が1つ、狭い1丁目に小学校と中学校があるのは適正配置とはいえません。統合中学は、第一中にするのが自然なことでしょう。幸町第二中学校区青少年育成委員会会長の立場からすれば、大変残念なことです、やむを得ないだろうと内心考え始めました。

ところが、統合した場合、地域と学区の整合性から、「中央区を学区からはずす」という意見が2丁目の団体から出され、大変驚き、中学の統合問題は一時中断することになりました。第二小としては、中学が1つになればどちらに行くことになってしまってもかまわないから、小学校の統合場所も大勢に従うという意見でしたが、こうなると話が違います。大変困惑され、苦渋の決断で統合を承諾された経緯があります。

この3年の間に、第三小はますます生徒が増え、運動場で十分遊べないという状況になってきました。公園使用の許可を得て、地域の人たちに見守りをお願いし、幸町公園で昼休みに遊んだり、たまには第二中の校庭を借りたりしています。

第三小は、ガーデンタウンを設計した三井建設が造ったと聞いています。デザイン的には優れていて、最初は注目されましたが、学校としては不適切な所が多く、ガラス窓が大きいので、夏は非常に暑く、ベランダも広いのですが、屋根がないので、さらに暑さが増します。大きな簾を立てかけていますが、暑さを凌げません。ここ近年の猛暑には対応し切れず、去年は40℃を超える状態になり、午前中授業で切り上げた日があったと聞いています。

その反対に、冬は寒く、ストーブのある教室と廊下の温度差がひどいようです。また、体育館も同様にガラスが多用されていて、夏は温室状態になり暑い上に風通しが悪く、雨の日は雨音が大きく、声が聞こえません。

文科省の主導で始まった放課後子ども教室についても、今まで以上に増やしていく方針が発表され、千葉市でも空き教室等を使った子どもの居場所づくりに学校の活用を考えているとのこと。私は、青少年育成委員会会長会の役員として、社会教育委員を仰せつかり会議に出席した時も、特別教室開放事業でも2校増やすとのことでした。ところが、第三小では、子どもの居場所を作ってほしいと要望しても全く空き教室等はありません。PTAの部屋すらなくて、倉庫を使っている状態です。

第二中を統合校とした場合も、今いっぱいいっぱいの状況ですから、教室を増やすのは大変だと思います。いろいろな状況を鑑みて、第二中を中学の統合校とするのは得策とはいえないと思います。

そこで、**統合校を第一中とし、空いた第二中に第三小を移し、現第三小の校舎の空き教室等を子どもたちの居場所にしてほしいと要望いたします。**

ただし、次の2点を条件とします。

- ①中央区の生徒が新宿中に行けるようになったら、すぐに学区の変更をお願いします。
- ②第二中を第三小にすることができない場合、提案は白紙に戻す。

第三小、第二中、第一中等の見学をしていただいて、児童・生徒のためにどうするのが一番良いか、ご検討いただきたいと思います。教育委員会で見学会を計画してください。